

解説

堀口翔伍\*

# Flow from Paper Submission to Publication in “Journal of Packaging Science & Technology, Japan”

Ujiqi J QTK WEJ K

Tgi ctf lpi "y g'wdo kuukp"qh'tgugtej "r cr gtu"v"oLqwtpci'qh'Rcenti lpi "Uelkpeg"("Vgej pnti {"Lcr cpö." y g'r tqegf wtg'htqo 'uwo kuukp"vq'r vdrlecvkp"y tkkpi "qh'o cpwuetk v."uwo kuukp"qh'tgugtej "r cr gtu"r ggt" tglky ."r ggt" tglky "tguwu"cpf "tgur qpugu." uwo kuukp"qh'hkpcn'o cpwuetk v." cwj qt" r tqqlt gcf lpi ." cpf " r vdrlecvkp+"y kn'dg"gzr nckpfg 0

キーワード :

Keywords : Research Papers, Paper Submission, Peer Review

\*地独+大阪産業技術研究所(〒591-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2 丁目 7-1), Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology (ORIST)04/9/30C{ wo kq. K wo k'ekf .Qucm'7; 6/3379.'Lcr cp."

連絡者(Corresponding author): 堀口翔伍(Shogo HORIGUCHI) VGN<2947/73/493; .'Go ckn'j qt ki wej ku@ qtkvdr



筆用テンプレートを準備してありますのでご利用ください。

論文投稿・査読に関する倫理規定では著者の責務が規定されています。研究不正を防止するための研究者倫理に関する重要な内容となっています。

論文の執筆に関して、「論文執筆の心得<sup>5)</sup>」、「先行研究調査の心得<sup>6)</sup>」を本特集で解説いただいています。何から手を付けていか分からずなかなか論文を書き始められないという方は是非読んでみてください。

原稿が完成したら投稿しましょう。投稿（論文の提出）の方法は、電子ファイルと紙原稿の4通りあります。"

電子ファイルの場合は以下の点に注意して、編集事務局のアドレス \*gf kB ur uvlQr +に電子メールで提出します。"

- ・件名を「投稿原稿提出」とする。
- ・原稿は RFH形式とする。
- ・投稿表紙(執筆要項参照)も提出する。"

紙原稿の場合は以下の点に注意して編集事務局あてに簡易書留で郵送して提出します。

- ・原本及び副本2部を提出する。
- ・封筒には「投稿原稿在中」と朱書きする。
- ・投稿表紙(執筆要項参照)も提出する。

投稿が完了すると原稿受付の通知が編集事務局から届きます。

投稿が完了すると審査が始まります。まず、編集委員の中から3名の査読者選定委員が選出され、査読者選定委員を委員長とした審査委員会を設置されます。査読者選定委員が4名の査読者を選定し、3か月以内に査読が行われます。査読は論文投稿・査読に関する倫理規定や投稿論文査読要領に則って行われます。

次に、審査委員会では査読結果をもとに審議が行われます。通常は2か月以内に編集事務局から審査結果が著者に回答されます。審査の状況によっては2か月以上かかることもあります。

査読者2名の判定が「可と否」や「可と論文種別の変更」など異なる結果となった場合は3人目の査読者を選出し3週間以内に査読が行われます。

本特集では「学術論文査読の要点<sup>7)</sup>」として査読者視点での解説をいただいています。投稿者としても査読者がどのような視点で見るのかを知ることは論文の質の向上や分かりやすい論文の執筆につながりますので、是非読んでみてください。

審査結果は以下の6パターンになります。それぞれの場合において必要な対応を説明します。

- ①可
- ②条件付可 I
- ③条件付可 II

④論文種類を技術報告（もしくはノート）にすれば、掲載可：再査読の必要なし

⑤論文種類を技術報告（もしくはノート）にすれば、掲載可：再査読の必要あり

⑥否

審査結果が①可の場合は「ほとんどそのままの原稿を掲載することが問題ない場合」となります。②条件付可Ⅰの場合は「一部不適當な部分があり短期間で修正可能で再査読の必要がない場合」となります。いずれも再査読の必要がないため、査読者の指摘事項を修正し、提出期限までに最終原稿を提出します。この際に指摘事項に無い重要な変更を審査委員会の許諾なしに行ってはいけません。

審査結果が③条件付可Ⅱの場合は「一部不適當な部分があり短期間で修正可能であるが、再査読が必要な場合」となります。

この場合はもう一度、査読がありますので提出期限までに指摘事項を修正する必要があります。指摘事項を修正する際は、査読者の指摘に対して1点ずつ修正箇所およびその内容が分かるように別紙に回答を作成します。修正が完了したら、修正原稿と別紙に記載した回答を提出期限までに編集事務局へ提出します。この際に指摘事項に無い重要な変更を審査委員会の許諾なしに行ってはいけません。

また、提出期限に間に合わない場合は編集事務局にご相談ください。

審査結果が④⑤の論文種類の変更の場合は審査結果に記載された種別（技術報告もしくはノート）への変更となります。種別の変更を望まない場合は投稿の取り下げとなります。

④の場合は再査読の必要が無いので②と同様に変更された種別での提出期限までに最終原稿を提出します。

⑤の場合は再査読が必要なので③と同様に原稿を修正し別紙に指摘事項への回答を作成して提出期限までに編集事務局へ提出します。この際に指摘事項に無い重要な変更を審査委員会の許諾なしに行ってはいけません。なお、提出期限に間に合わない場合は編集事務局にご相談ください。

審査結果が⑥否の場合は不採択となります。不採択には様々な理由があります。理由が本誌の分野との不一致の場合は、他の論文誌にチャレンジするのも良いと思います。再実験が必要であるなどの理由で短期間で修正が難しい場合は十分な修正の上で再投稿も可能です。より良い研究成果に仕上げてもう一度チャレンジしてください。

審査結果が①②④となり掲載が決まりましたら指定された期日までに最終原稿を提出します。

電子ファイルの場合は以下の点に注意して、編集事務局のアドレス \*gf kbB ur uvQr +に電子メールで提出します。"

- ・件名を「最終原稿提出」とする。
- ・原稿はワードプロセッサのファイル形式とする。
- ・使用したワードプロセッサのソフト名を明記する。

紙原稿の場合は以下の点に注意して編集事務局あてに簡易書留で郵送して提出します。なお、最終原稿は原則として返却しません。

- ・原本及び副本1部を提出する。
- ・封筒には「最終原稿在中」と朱書きする。

なお、提出期限に間に合わない場合は編集事務局にご相談ください。

最終原稿を提出すると学会誌の発刊前月に著者校正を行います。編集事務局から著者校正の連絡が届きましたら提出期限までに校正して返答をします。その際、印刷上の誤り以外の字句等の訂正あるいは原稿にない文字の挿入は、原則として認められません。割付時にレイアウトの乱れや特殊文字の表記乱れが発生する場合がありますので特に注意して確認してください。

% K96

本稿では本誌における論文の執筆から掲載までの流れを解説しました。論文の投稿はハードルが高いと感じられている方もいるかもしれませんが、しかし、初めは何をするにしてもハードルはあるものです。まずは論文を書き、そして投稿することから始めてみましょう。

- 3+ 日本包装学会、投稿論文査読要領、  
j wr u<1y y y Qr uvQr lr wdnkc vqpp hqwmqwl  
ucf qmWQ vo n \*4245年33月3日確認+
- 4+ 日本包装学会、投稿規定(4234年7月  
32日改訂)  
j wr u<1y y y Qr uvQr lr wdnkc vqpp hqwmqwl  
kpf gzQ vo n \*4245年33月3日確認+
- 5+ 日本包装学会、執筆要項(4239年9月  
34日改訂)  
j wr u<1y y y Qr uvQr lr wdnkc vqpp hqwmqwl

shippitsu.html (2023年11月1日確認)

- 4) 日本包装学会、論文投稿・査読に関する倫理規定 (2021年6月28日制定)
- 5) 永井一清, 論文執筆の心得 ~日本包装学会誌の論文の書き方のいろは~, 日本包装学会誌, 32(6), p.365 (2023)

- 6) 浦裕之, 定本清美, 先行研究調査の心得, 日本包装学会誌, 32(6), p.373 (2023)
- 7) 北澤裕明, 学術論文査読の要点, 日本包装学会誌, 32(6), p.381(2023)

(原稿受付 2023年11月1日)